RFS シリーズコント ローラ



スタートガイド



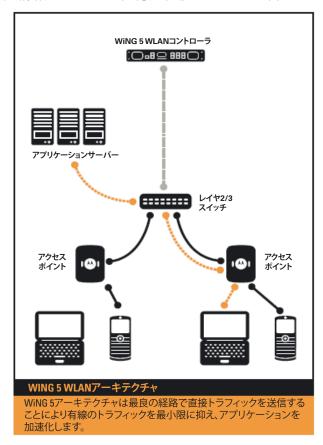
MOTOROLA SOLUTIONS および M 形状のロゴはアメリカ合衆国特許および登録商標庁に登録されています。© Motorola Solutions, Inc. 2012. All rights reserved.

1.0 はじめに	4
1.1 本書での表記について	5
1.2 警告	5
1.3 設置場所の準備	6
2.0 RFS シリーズコントローラについて	7
2.1 RFS4000	7
2.2 RFS4011	9
2.3 RFS6000	11
2.4 RFS7000	13
3.0 ハードウェアの設置	15
3.1 コントローラのパスワードのリセット	15
3.2 電源保護	15
3.3 LED インジケータ	16
4.0 コンソールケーブルの使用	41
5.0 コントローラの初期設定	42
5.1 コントローラの基本的な構成	44
6.0 規制および WEEE に関する声明	54
7.0 モトローラソリューションズサポート	62
8.0 Motorola Solutions, Inc. エンドユーザーライセン	
ス契約	63

1 はじめに

モトローラソリューションズのコントローラ、モデル RFS4000 および RFS6000、RFS7000 は、モトローラ RFS シリーズ統合サービスコントローラファミリの主力製品です。RFS シリーズコントローラは、革新的なモジュラー WiNG オペレーティングシステムに基づき設計されています。モトローラソリューションズの Wireless Next Generation (WiNG) アーキテクチャは、パワフルで総括的な一連の機能により操作効率を向上するとともにモビリティのコストを低減します。

WiNG オペレーティングシステムは、音声、データ、RF 管理の統合プラットフォームです。 WiNG は、ワイヤレスの音声、ビデオ、データおよび複数の RF 技術 (RFID および Wi-Fi、4G 技術)を1つのプラットフォームに集約し、効率的な業務運用を実現します。エンタープライズクラスの機能には、L2/L3 展開全体にわたるシームレスなローミング、障害発生時の迅速な回復を可能にするフェイルオーバ、包括的なセキュリティ、電話回線と同等の音声品質に加え、マルチ RF 位置情報などのその他付加価値サービスが含まれています。



本ガイドは、WiNG バージョン 5.2 以降を実行する RFS4000 および RFS4011、RFS6000、RFS 7000 モデルの RFS コントローラ用です。コントローラで使用可能な最新のソフトウェアに関する情報は、モトローラソリューションズのサポートセントラル Web サイト (http://supportcentral.motorola.com/) を参照してください。

この文書は、有資格のネットワーク装置設置担当者向けのものです。

1.1 本書での表記について

この文書では次の記号を使用して、注意が必要な状況を示しています。



メモ 注意する必要のある助言、ヒント、または特別な要件。



注意 注意が必要です。注意を無視すると、データの損失または 機器の異常動作を招く可能性があります。



警告! 人体負傷または機器の破損を招く可能性のある状況や手順を示します。

1.2 警告

- システムを電源に接続する前に、設置に関するすべての手順と設置場所の説明レポートを読み、機器の正しい設置方法を確認してください。
- この機器を設置する前に、貴金属と時計を取りはずしてください。
- 適切な寸法および許容重量のラックまたはデスクトップに機器を設置してください。
- ユニットを電源に接続する前に、ユニットを接地したことを確認してください。
- このユニットに接続するすべての機器が、正しく接続および接地されていることを確認してください。
- すべての電源コードを電気回路に正しく接続および接地してください。
- 電気回路に適切なオーバーロード保護機能が取り付けられていることを確認してください。
- コントローラの電力定格をサポートする無停電電源装置 (UPS) のご使用を強くお勧めします。UPS を使用しない場合、電力サージや電源障害によるデータの損失または機器の破損を招く可能性があります。
- 機器の動作中は、電源コネクタとソケットがアクセス可能であることを常に確認してください。
- 薄暗い場所で電気回路の操作をしないでください。
- 雷雨など、電力サージが発生する可能性のある気象条件のときは、この機器の設置や電源回路の操作を行わないでください。
- 装置の周囲で適切な通気が確保されていること、および周囲の温度が機器の動作仕様を満たしていることを確認してください。
- この製品は、建物内に設置することのみを想定して設計されており、屋外ネットワークへの接続は想定されていません。

1.3 設置場所の準備

- 設置場所の調査レポートとネットワーク分析レポートを参照し、機器の具体的な設置場所やポート容量、引き込み線などを決定してください。
- 設置の役割を適切な担当者に割り当ててください。
- すべての設置済みコンポーネントの場所を特定してください。
- 必要に応じて、適切なラック取り付け要件を確認してください。
- 機器にとって十分な数の引き込み線を用意してください。
- すべての設置済み機器に対して、ほこりのない十分な通気を確保してください。
- イーサネットポートとコンソールポートの接続を特定し、準備してください。
- 最適な信号送信ができるように、ケーブルの長さが最大許容長以内であることを確認してください。
- コントローラの電源が無停電電源装置(UPS)から供給されていることを確認してください。

2 RFS シリーズコントローラについて

2.1 RFS4000

RFS4000 コントローラは、高性能で総括的、かつコスト効率に優れた安全な有線および無線のネットワークサービスをあらゆる支店や遠隔施設で使用可能にします。RFS4000 は完全統合 802.11n 無線サービスコントローラおよび有線コントローラで、POE ポート (5 個)、IPSEC VPN/ファイアウォール /WIPS セキュリティ、RADIUS および DHCP サーバー、位置情報および RFID エンジン、3G フェイルオーバなどを搭載しています。RFS4000 はこのクラスで唯一、メッシュサービスと同時にデュアルバンドアクセスが可能で、ワイヤレス侵入防御システム (WIPS) で 24 時間常にセキュリティが確保できます。

RFS4000 には、RJ-45 ギガビットイーサネット LAN ポートが 5 個、一体型のギガビット (RJ45 + SFP) アップリンクポートが 1 個あります。RJ-45 ポートを使用する場合は、カテゴリ 6 のイーサネットケーブルをポートに接続する必要があります。ギガビット SFP ポートを使用する場合は、最初に SFP モジュール (モトローラ部品番号: Fiber-3000-1S-WWR) を設置してください。

RFS4000 には、USB フラッシュ記憶装置デバイスを接続するための USB ポートが 1 個あります。この USB フラッシュ記憶装置デバイスを使用して、ファイル転送やファームウェアの更新を行うことができます。以下のセットアップ手順に従って、コントローラにデバイスを接続し、Web UI または CLI からこれらのデバイスにアクセスします。



RFS4000 は、最大 36 個のアダプティブ AP (AAP)、または 6 個のシンアクセスポイントの使用が可能です。

幅	304.8mm (12.0 インチ)
高さ	44.45mm (1.75 インチ) 1 RU
奥行	254mm (10.0 インチ)
重量	2.15Kg (4.75 ポンド)
動作温度	$0^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C} (32^{\circ}\text{F} \sim 104^{\circ}\text{F})$
動作湿度	5% ~ 85% RH、結露なきこと
動作高度	3,048m (10,000 フィート) (28°C、< 相対湿度 15% の場合)

電源ユニットはコントローラに同梱されていますが、電源コードは含まれていません。 使用する国の認定を受けた適切な定格電源コードのみを使用してください。

RFS4000 のパッケージ内容を確認し、不足しているものや破損しているものがあった場合は 販売代理店にご連絡ください。パッケージ内容は以下のとおりです。

- RFS4000 コントローラ
- コンソールケーブル
- 設置ガイド
- ゴム足
- 電源ユニット

2.2 RFS4011

RFS4011 は、伝導送信電力 27.7dBm の 3X3 MIMO に対応したデュアル無線、デュアルバンド 802.11n 統合コントローラ / アクセスポイントです。RFS4011 の 2 つの無線のうち、1 つは常時動作する IDS/IPS およびスペクトル分析と高度なトラブルシューティングに使用でき、もう 1 つは無線ユーザーに同時アクセスを提供します。

RFS4000 同様、RFS4011 には、RJ-45 ギガビットイーサネット LAN ポートが 5 個、一体型のギガビット (RJ45 + SFP) アップリンクポートが 1 個あります。RJ-45 ポートを使用する場合は、カテゴリ 6 のイーサネットケーブルをポートに接続する必要があります。ギガビット SFP ポートを使用する場合は、最初に SFP モジュール (モトローラ部品番号: Fiber-3000-1S-WWR) を設置してください。

RFS4011 には、USB フラッシュ記憶装置デバイスを接続するための USB ポートが 1 個あります。この USB フラッシュ記憶装置デバイスを使用して、ファイル転送やファームウェアの更新を行うことができます。以下のセットアップ手順に従って、コントローラにデバイスを接続し、Web UI またはコマンドラインインタフェースからこれらのデバイスにアクセスします。



RFS4011 は、最大 36 個のアダプティブ AP (AAP) または 6 個のシンアクセスポイントの使用が可能です。

幅	304.8mm (12.0 インチ)
高さ	44.45mm (1.75 インチ) 1 RU
奥行	254mm (10.0 インチ)
重量	2.15Kg (4.73 ポンド)
動作温度	$0^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C} (32^{\circ}\text{F} \sim 104^{\circ}\text{F})$
動作湿度	5% ~ 85% RH、結露なきこと
動作高度	3,048m (10,000 フィート) (28°C、< 相対湿度 15% の場合)

電源ユニットはコントローラに同梱されていますが、電源コードは含まれていません。 使用する国の認定を受けた適切な定格電源コードのみを使用してください。

RFS4011 は、オプションのアンテナファサード (部品番号: ML-2452-PTA4M3X3-1) に対応しています。RFS4011 での使用規格に対応した他のアンテナに関する情報は、『アンテナ仕様ガイド』 (http://supportcentral.motorola.com/support/product/manuals.do) を参照してください。

RFS4011 のパッケージ内容を確認し、不足しているものや破損しているものがあった場合は 販売代理店にご連絡ください。パッケージ内容は以下のとおりです。

- RFS4011 コントローラ
- コンソールケーブル
- 設置ガイド
- ゴム足
- 電源ユニット

2.3 RFS6000

RFS6000 コントローラは、2,000 ~ 20,000 人のユーザーを擁する中規模・大規模組織内外でキャリアグレードの無線音声・データ供給を可能にする単一プラットフォームです。エンタープライズクラスの RFS6000 は、要求の厳しいミッションクリティカルなビジネスアプリケーションのニーズに対応するクラス最高の性能とセキュリティ、拡張性、管理機能を有します。

RFS6000 には、RJ-45 ギガビットイーサネット LAN ポートが 9 個、ギガビット SFP(光ファイバ)ポートが 1 個あります。RJ-45 ポートを使用する場合は、カテゴリ 6 のイーサネットケーブルをポートに接続する必要があります。ギガビット SFP ポートを使用する場合は、最初に SFP モジュール (部品番号: Fiber-3000-1S-WWR) を設置してください。

RFS6000 には、USB フラッシュ記憶装置デバイスを接続するための USB ポートが 1 個あります。この USB フラッシュ記憶装置デバイスを使用して、ファイル転送やファームウェアの更新を行うことができます。以下のセットアップ手順に従って、コントローラにデバイスを接続し、Web UI または CLI からこれらのデバイスにアクセスします。



1 台の RFS6000 で、最大 256 個のアダプティブ AP (AAP)、および最大 2,000 のワイヤレスクライアントの使用が可能です。

幅	440mm (17.32 インチ)
高さ	44.45mm (1.75 インチ)
奥行	390.8mm (15.38 インチ)
重量	6.35Kg (14.0 ポンド)
動作温度	$0^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$
動作湿度	5% ~ 85% RH、結露なきこと
動作高度	3km (10000 フィート)

電源コードはコントローラに付属していません。使用する国の認定を受けた適切な定格電源 コードのみを使用してください。 パッケージ内容を確認し、不足しているものや破損しているものがあった場合は販売代理 店にご連絡ください。パッケージ内容は以下のとおりです。

- RFS6000(ラックブラケット取り付け済み)
- コンソールケーブル
- 設置ガイド
- 中国 RoHS への準拠に関する文書

2.4 RFS7000

RFS7000 は、8,000 ~96,000 人のユーザーを擁する大企業 / 大学 / ウェアハウス向けにキャリアグレードの無線音声・データ供給を可能にする単一プラットフォームとして、比類なき性能とセキュリティ、拡張性、管理機能を提供します。大規模かつ広帯域幅の展開用に設計された RFS7000 コントローラは、大企業や大学、データセンターに高度に拡張可能なエンタープライズモビリティをもたらします。



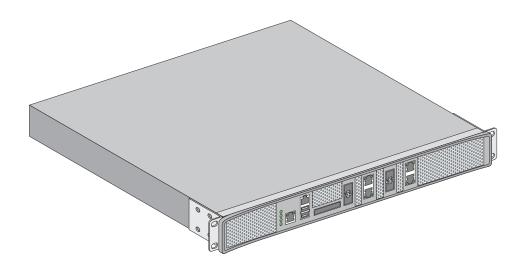
メモ FIPS および CC 準拠 – RFS7000-GR は、安全なゲストアクセス を保証する統合 MAC ベース認証や侵入検知、ホットスポットプロビジョニング機能など、包括的なネットワークセキュリティ機能を搭載しています。

RFS7000 には、RJ-45 ギガビットイーサネットポートが 4 個、ギガビット SFP(ファイバ)ポートが 4 個、アウトオブバンド管理ポートが 1 個、コンソールコネクタが 1 個あります。これらの各ポートと、ポートに取り付けられたケーブルや装置を上の図に示します。以下のセクションでは、各ポートの接続の詳細とケーブル接続に関する情報について説明します。ソフトウェア構成については、モトローラ Web サイトにある RFS コントローラ用『システムリファレンスガイド』を参照してください。

RFS7000 には、RJ-45 ギガビットイーサネット LAN ポートが 4 個、ギガビット SFP(光ファイバ) ポートが 4 個あります。RJ-45 ポートを使用する場合は、カテゴリ 6 のイーサネットケーブルをポートに接続する必要があります。ギガビット SFP ポートを使用する場合は、最初に SFP モジュール (モトローラ部品番号: Fiber-3000-1S-WWR) を設置してください。

RFS7000 には、USB フラッシュ記憶装置デバイスを接続するための USB ポートが 2 個あります。これら USB フラッシュ記憶装置デバイスを使用して、ファイル転送やファームウェアの更新を行うことができます。以下のセットアップ手順に従って、コントローラにデバイスを接続し、Web UI または CLI からこれらのデバイスにアクセスします。

RFS7000 には、ファイルの転送やファームウェアの更新用に Compact Flash スロットが搭載されており、モトローラソリューションズのサービス技術者がこのスロットを使用することもあります。以下のセットアップ手順に従って、コントローラに Compact Flash カードを接続し、Web UI からこのカードにアクセスします。



1 台の RFS6000 で、最大 256 個のアダプティブ AP、および最大 2,000 のワイヤレスクライアントの使用が可能です。

幅	440mm (17.32 インチ)
高さ	44.45mm (1.75 インチ)
奥行	390.8mm (15.38 インチ)
重量	6.12Kg (13.5 ポンド)
動作温度	$0^{\circ}\mathrm{C} \sim 40^{\circ}\mathrm{C}$
動作湿度	5% ~ 85% RH、結露なきこと
動作高度	3km (10000 フィート)

電源コードはコントローラに付属していません。使用する国の認定を受けた適切な定格電源コードのみを使用してください。

パッケージ内容を確認し、不足しているものや破損しているものがあった場合は販売代理店にご連絡ください。パッケージ内容は以下のとおりです。

- RFS7000 RF(ラックブラケット取り付け済み)
- コンソールケーブル
- 設置ガイド

3 ハードウェアの設置

RFS4010 および RFS4011、RFS6000、RFS7000 コントローラは、モデルによって取り付け方法と配線方法が異なります。それぞれのモデルの設置方法については、コントローラに同梱されている設置ガイドを参照してください。ガイドが手元にない場合は、モトローラソリューションズの Web サイト (ttp://supportcentral.motorola.com/support/product/manuals.do) で入手可能です。

物理的な設置を完了後、LED の動作を見てコントローラの機能を確認してください。本ガイドで扱われている RFS シリーズコントローラの LED 動作については、LED インジケータ 16 ページを参照してください。

3.1 コントローラのパスワードのリセット

RFS シリーズのコントローラには、パスワードを既定の値に復元する機能があります。この機能を使用すると、アクセスポイントのセキュリティ、無線および電源管理構成も既定の設定に戻ります。アクセスポイントのパスワードのリセットは、インストールに詳しい方だけが行い、類推されにくい新しいパスワードを直ちに定義してください。

パスワードのリセットが必要になり、モトローラサポートにお問い合わせになる場合は、 次の URL を参照してください。 http://www.symbol.com/contactsupport



注意

パスワードのリセット時には、インストールに詳しい、 資格を持った方のみがコントローラの管理構成を設定 または復元するようにしてください。

3.2 電源保護

RFS コントローラに電源を入れる前に、電源に関する次の注意事項が守られていることを確認します。

- **可能な場合は、データ処理機器専用の回路を使用してください**。民間の電気工事業者は データ処理機器の配線に精通しており、これらの回路の負荷分散を行ううえでも助けに なります。
- **サージ保護を行ってください**。電力供給元とコントローラ間で、必ずサージ保護装置を使用してください。
- 無停電電源装置 (UPS) を設置してください。. UPS を使用すると、停電時でも途切れることなく電力が供給されます。サージ保護が統合された UPS 装置もあります。UPS 機器の信頼性を保証するためには、定期的な保守が必要です。データ処理機器に対して適切な容量を持つ UPS を購入してください。

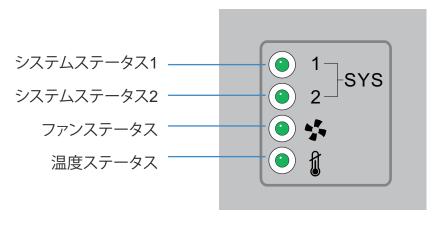
3.3 LED インジケータ

RFS シリーズのコントローラはモデルによって表示機能の異なる LED インジケータが搭載されています。

3.3.1 RFS4000 の LED

RFS4010 のフロントパネルには、縦に並んだ 4 個の LED があります。6 個のギガビットイーサネットポートには、それぞれ 2 個のステータス LED があります。これらの LED の色は緑色またはオレンジ色で、点灯、点滅、消灯により 3 種類のステータスを表します。次の表は、システムステータス LED とギガビットイーサネット LED の色の組み合わせと、対応する状態を説明したものです。

システムステータス LED



起動 /POST (プライマリシステムまたは冗長システム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点滅)	緑(点滅)	パワーオンセルフテスト (POST) 実行中
緑(点灯)	緑(点滅)	POST 成功(オペレーティングシステム 読み込み中)
緑(点灯)	消灯	POST 成功(通常動作)
オレンジ(点滅)	消灯	POST エラー
緑とオレンジが交互に 点滅	緑とオレンジが交互に 点滅	システム起動エラー



メモ コントローラの起動中、温度ステータス LED はオレンジ色 に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すも のではありません。起動が完了すると、温度ステータス LED は緑色に点灯します。

コントローラのステータス (プライマリシステム)

システムステ ータス1LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長機能有効 プライマリシステムの通常動作 使用しているアクセスポートなし
緑(点灯)	緑(点灯)	冗長機能有効 プライマリシステムの通常動作 アクティブなアクセスポート使用中
緑(点灯)	オレンジ(点滅)	コントローラの国コード未設定 または アクセスポートまたはアダプティブ AP のライセンスおよび国コードは設定済 みだが、使用している AP なし

コントローラのステータス (冗長システム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長システムの通常動作
緑(点滅)	緑(点灯)	冗長システムによりフェイルオーバ、 ポート使用中
緑(点滅)	緑とオレンジが交互に 点滅	冗長システムのフェイルオーバなし

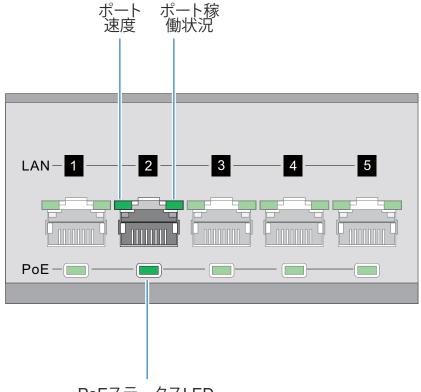
ファン LED

ファン LED	イベント
消灯	システムはオフ //POST 開始
緑(点滅)	POST 処理中
緑(点灯)	すべてのシステムファンが通常動作
オレンジ(点灯)	冗長冷却エラー システムは動作可能
オレンジ(点滅)	システム冷却エラー この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

温度ステータス LED

温度 LED	イベント
消灯	システムはオフ
緑(点灯)	吸気口周囲の温度が指定された使用温 度範囲内
	吸気口周囲の温度が最大使用温度 に近接
オレンジ (点灯)	コントローラの起動中、この LED はオレンジ色に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すものではありません。
オレンジルも減り	吸気口周囲の温度が指定された最大使 用温度を超過
オレンジ(点滅)	この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

RJ-45 ギガビットイーサネット LED



PoEステータスLED

RJ-45 ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
消灯	10Mbps
緑(点灯)	100Mbps
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	ポート障害

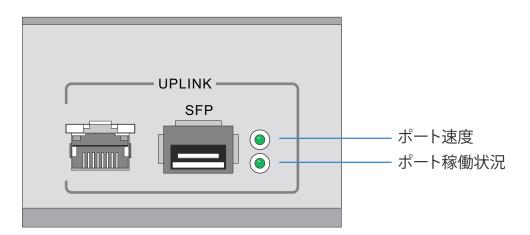
RJ-45 ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり
緑(点滅)	稼働状況:送受信
オレンジ(点滅)	リンクエラー

PoE ステータス LED

PoE ステータス LED	イベント
消灯	PoE は無効または未使用
緑(点灯)	PoE 有効、ポートに電力供給中
オレンジ(点灯)	PoE 限界超過
オレンジ(点滅)	PoE ポート障害

SFP ギガビットイーサネット LED



SFP ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

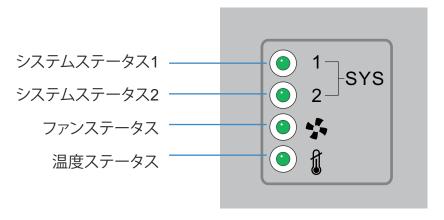
SFP ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり/動作可能
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

3.3.2 RFS4011 の LED

RFS4011 シリーズ統合サービスコントローラのフロントパネルには、8 個のステータス LED があります。そのうち 4 個の LED はシステム、ファン、および温度のステータスを 表します。残りの 4 個は無線ごとに 2 個ずつ割り当てられ、帯域ごとのアクセスまたは センサーの動作を示します。6 個のギガビットイーサネットポートには、それぞれ 2 個の ステータス LED があります。これらの LED の色は緑色またはオレンジ色で、点灯、点滅、消灯により 3 種類のステータスを表します。ギガビットイーサネットポートのうち 5 個は Power over Ethernet (PoE) もサポートしており、それぞれに対応する PoE LED があります。 次の表は、システムステータス、無線、ギガビットイーサネット、PoE の各 LED の色の 組み合わせと、対応する状態を説明したものです。

システムステータス LED



起動 /POST(プライマリシステムまたは冗長システム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点滅)	緑(点滅)	パワーオンセルフテスト (POST) 実行中
緑(点灯)	緑(点滅)	POST 成功(オペレーティングシステム 読み込み中)
緑(点灯)	消灯	POST 成功 (通常動作)
オレンジ(点滅)	消灯	POST エラー
緑とオレンジが交互に 点滅	緑とオレンジが交互に 点滅	システム起動エラー



メモ コントローラの起動中、温度ステータス LED はオレンジ色 に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すも のではありません。起動が完了すると、温度ステータス LED は緑色に点灯します。

コントローラのステータス (プライマリシステム)

システムステ ータス1LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長機能有効 プライマリシステムの通常動作 使用しているアクセスポートなし
緑(点灯)	緑(点灯)	冗長機能有効 プライマリシステムの通常動作 アクティブなアクセスポート使用中
緑(点灯)	オレンジ(点滅)	コントローラの国コード未設定 または アクセスポートまたはアダプティブ AP のライセンスおよび国コードは設定済 みだが、使用している AP なし

コントローラのステータス (冗長システム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長システムの通常動作
緑(点滅)	緑(点灯)	冗長システムによりフェイルオーバ、 ポート使用中
緑(点滅)	緑とオレンジが交互に 点滅	冗長システムのフェイルオーバなし

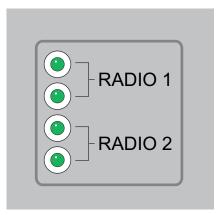
ファン LED

ファン LED	イベント
消灯	システムはオフ //POST 開始
緑(点滅)	POST 処理中
緑(点灯)	すべてのシステムファンが通常動作
オレンジ(点灯)	冗長冷却エラー システムは動作可能
オレンジ (点滅)	システム冷却エラー この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

温度ステータス LED

温度 LED	イベント
消灯	システムはオフ
緑(点灯)	吸気口周囲の温度が指定された使用温 度範囲内
オレンジ(点灯)	吸気口周囲の温度が最大使用温度 に近接
	コントローラの起動中、この LED はオレンジ色に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すものではありません。
オレンジ(点滅)	吸気口周囲の温度が指定された最大使 用温度を超過
	この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

RFS4011 無線ステータス LED



無線 1 LED

無線 1 LED 1	イベント
消灯	WLAN 無線が無効またはインストール されていない
緑(点灯)	無線は存在するが、設定なし (2.4GHz 帯)
緑(点滅)	稼働状況 - 送信 / 受信 (2.4GHz 帯)

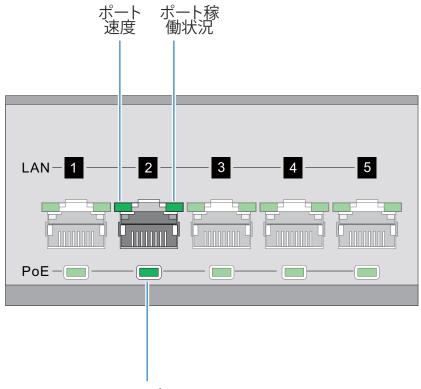
無線 1 LED 2	イベント
消灯	WLAN 無線が無効またはインストール されていない
緑(点灯)	センサーモード(センサーサーバー接 続なし)
緑(点滅)	センサーモード (センサーサーバー接 続あり)

無線 2 LED

無線 2 LED 1	イベント
消灯	WLAN 無線が無効またはインストール されていない
オレンジ(点灯)	無線は存在するが、設定なし (5.2GHz 帯)
オレンジ(点滅)	稼働状況 - 送信 / 受信 (5.2GHz 帯)

無線 2 LED 2	イベント
消灯	WLAN 無線が無効またはインストール されていない
緑(点灯)	センサーモード (センサーサーバー接 続なし)
緑(点滅)	センサーモード (センサーサーバー接 続あり)

RJ-45 ギガビットイーサネット LED



PoEステータスLED

RJ-45 ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
消灯	10Mbps
緑(点灯)	100Mbps
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	ポート障害

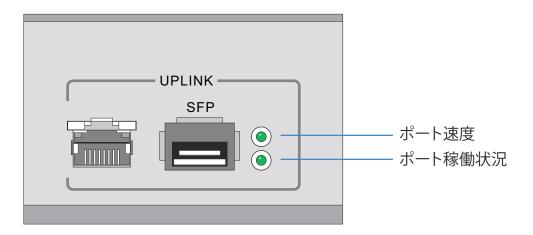
RJ-45 ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり
緑(点滅)	稼働状況:送受信
オレンジ(点滅)	リンクエラー

PoE ステータス LED

PoE ステータス LED	イベント
消灯	PoE は無効または未使用
緑(点灯)	PoE 有効、ポートに電力供給中
オレンジ(点灯)	PoE 限界超過
オレンジ(点滅)	PoE ポート障害

SFP ギガビットイーサネット LED



SFP ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

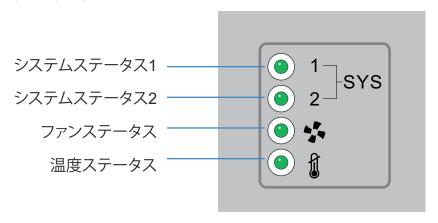
SFP ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり/動作可能
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

3.3.3 RFS6000 の LED

RFS6000 のフロントパネルには、縦に並んだ 4 個の LED があります。コントローラの各ギガビットイーサネットポートには、それぞれ 2 個のステータス LED があります。これらの LED の色は緑色またはオレンジ色で、点灯、点滅、消灯により 3 種類のステータスを表します。次の表は、システムステータス LED とギガビットイーサネット LED の色の組み合わせと、対応する状態を説明したものです。

システムステータス LED



起動 /POST(プライマリシステムまたは冗長システム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点滅)	緑(点滅)	パワーオンセルフテスト (POST) 実行中
緑(点灯)	緑(点滅)	POST 成功 (オペレーティングシステム 読み込み中)
緑(点灯)	消灯	POST 成功 (通常動作)
オレンジ(点滅)	消灯	POST エラー
緑とオレンジが交互に 点滅	緑とオレンジが交互に 点滅	システム起動エラー



メモ コントローラの起動中、温度ステータス LED はオレンジ色に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すものではありません。起動が完了すると、温度ステータス LED は緑色に点灯します。

コントローラのステータス (プライマリシステム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長機能無効
緑(点灯)	緑(点灯)	冗長機能有効 アクティブなアクセスポート使用中
緑(点灯)	オレンジ(点滅)	アクセスポイントを使用するライセン スがない または コントローラの国コード未設定 または 国コードは設定済みだが、 使用している AP なし

コントローラのステータス (冗長システム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長システムの通常動作
緑(点滅)	緑(点灯)	冗長システムによりフェイルオーバ、 アクセスポイント使用中
緑(点滅)	緑とオレンジが交互に 点滅	冗長システムのフェイルオーバなし
緑(点灯)	オレンジ(点滅)	アクセスポイントを使用するライセン スがない または コントローラの国コード未設定 または 国コードは設定済みだが、 使用している AP なし

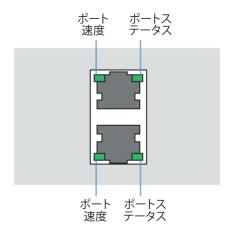
ファン LED

ファン LED	イベント
消灯	システムはオフ //POST 開始
緑(点滅)	POST 処理中
緑(点灯)	すべてのシステムファンが通常動作
オレンジ(点灯)	Redundant Cooling Failure システムは動作可能
オレンジ(点滅)	システム冷却エラー この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

温度ステータス LED

温度 LED	イベント
消灯	システムはオフ
緑(点灯)	吸気口周囲の温度が指定された使用温 度範囲内
	吸気口周囲の温度が最大使用温度 に近接
オレンジ(点灯)	コントローラの起動中、この LED はオレンジ色に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すものではありません。
オレンジ(点滅)	吸気口周囲の温度が指定された最大使 用温度を超過
	この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

RJ-45 ギガビットイーサネット LED



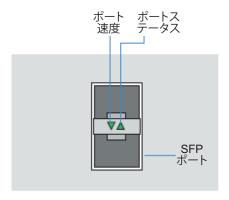
RJ-45 ポート速度 *LED*

ポート速度 LED	イベント
消灯	10Mbps
緑(点灯)	100Mbps
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	ポート障害

RJ-45 ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり
緑(点滅)	稼働状況:送受信
オレンジ(点滅)	リンクエラー

SFP ギガビットイーサネット LED



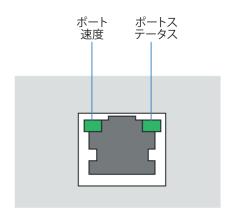
SFP ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

SFP ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり/動作可能
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

アウトオブバンド管理ポート LED



アウトオブバンド管理ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
消灯	10Mbps
緑(点灯)	100Mbps
オレンジ(点滅)	ポート障害

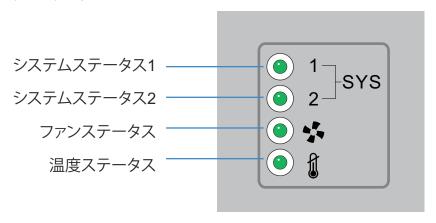
アウトオブバンド管理ポートステータス *LED*

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし
緑(点灯)	リンクあり
緑(点滅)	稼働状況:送受信
オレンジ(点滅)	リンクエラー

3.3.4 RFS7000 の LED

RFS7000 のフロントパネルには、縦に並んだ 4 個の LED があります。コントローラの各ギガビットイーサネットポートには、それぞれ 2 個のステータス LED があります。これらの LED の色は緑色またはオレンジ色で、点灯、点滅、消灯により 3 種類のステータスを表します。次の表は、システムステータス LED とギガビットイーサネット LED の色の組み合わせと、対応する状態を説明したものです。

システムステータス LED



起動 /POST(プライマリシステムまたは冗長システム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点滅)	緑(点滅)	パワーオンセルフテスト (POST) 実行中
緑(点灯)	緑(点滅)	POST 成功 (オペレーティングシステム 読み込み中)
緑(点灯)	消灯	POST 成功 (通常動作)
オレンジ(点滅)	消灯	POST エラー
緑とオレンジが交互に 点滅	緑とオレンジが交互に 点滅	システム起動エラー



メモ コントローラの起動中、温度ステータス LED はオレンジ色に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すものではありません。起動が完了すると、温度ステータス LED は緑色に点灯します。

コントローラのステータス (プライマリシステム)

システムステ ータス 1 LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長機能無効
緑(点灯)	緑(点灯)	冗長機能有効 アクティブなアクセスポート使用中
緑(点灯)	オレンジ(点滅)	アクセスポイントを使用するライセン スがない または コントローラの国コード未設定 または 国コードは設定済みだが、 使用している AP なし

コントローラのステータス (冗長システム)

システムステ ータス1LED	システムステ ータス 2 LED	イベント
消灯	消灯	電源オフ
緑(点灯)	消灯	冗長システムの通常動作
緑(点滅)	緑(点灯)	冗長システムによりフェイルオーバ、 アクセスポイント使用中
緑(点滅)	緑とオレンジが交互に 点滅	冗長システムのフェイルオーバなし
緑(点灯)	オレンジ(点滅)	アクセスポイントを使用するライセン スがない または コントローラの国コード未設定 または 国コードは設定済みだが、 使用している AP なし

ファン LED

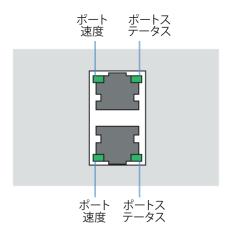
ファン LED	イベント
消灯	システムはオフ //POST 開始
緑(点滅)	POST 処理中
緑(点灯)	すべてのシステムファンが通常動作
オレンジ(点灯)	冗長冷却エラー システムは動作可能
オレンジ (点滅)	システム冷却エラー この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

37

温度ステータス LED

温度 LED	イベント
消灯	システムはオフ
緑(点灯)	吸気口周囲の温度が指定された使用温 度範囲内
オレンジ(点灯)	吸気口周囲の温度が最大使用温度 に近接
	コントローラの起動中、この LED はオレンジ色に点灯します。これは通常の動作であり、エラーを示すものではありません。
オレンジ(点滅)	吸気口周囲の温度が指定された最大使 用温度を超過
	この問題が解決するまでシステムはリ セット状態になります

RJ-45 ギガビットイーサネット LED



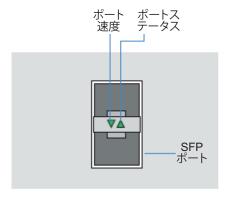
RJ-45 ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
消灯	10Mbps
緑(点灯)	100Mbps
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	ポート障害

RJ-45 ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり
緑(点滅)	稼働状況:送受信
オレンジ(点滅)	リンクエラー

SFP ギガビットイーサネット LED



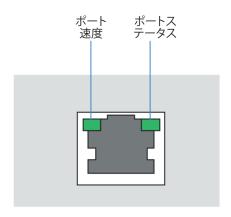
SFP ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
緑(点滅)	1000Mbps
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

SFP ポート稼働状況 LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし、または管理者により シャットダウン
緑(点灯)	リンクあり/動作可能
オレンジ(点滅)	モジュールまたは Tx/Rx の障害による 損失

アウトオブバンド管理ポート LED



アウトオブバンド管理ポート速度 LED

ポート速度 LED	イベント
消灯	10Mbps
緑(点灯)	100Mbps
オレンジ(点滅)	ポート障害

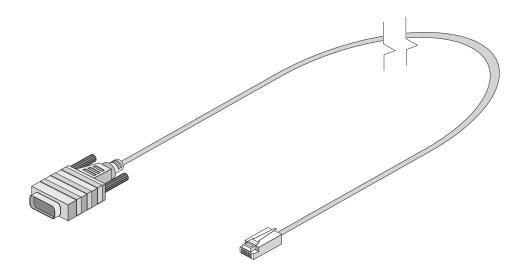
アウトオブバンド管理ポートステータス LED

ポートステータス LED	イベント
消灯	リンクなし
緑(点灯)	リンクあり
緑(点滅)	稼働状況:送受信
オレンジ(点滅)	リンクエラー

4 コンソールケーブルの使用

コントローラをネットワークに追加し、コントローラに内蔵の UI を使用して構成するには、次の手順に従います。

1. 付属のコンソールケーブルを使用して、コントローラのシリアルポートを別のコンピュータ (「構成コンピュータ」と呼びます)の RS-232 (DB-9) シリアルポートに接続します。



2. 構成コンピュータで、端末エミュレーションアプリケーション (HyperTerminal など) を以下のように構成します。

ターミナルタイプ	VT-100
ポート	COM ポート
ターミナルの設定	転送速度 19200bps 8 データビット パリティなし 1 ストップビット フロー制御なし ハードウェア圧縮なし

接続が確認できたら、コントローラ設定ウィザード (RFS4000 シリーズモデル) または ユーザーインターフェースを使用してコントローラの構成を定義できます。

モトローラソリューションズの RFS シリーズコントローラを使用して、接続されたアクセスポイントを管理する方法については、

<u>http://supportcentral.motorola.com/support/product/manuals.do</u>を参照してください。

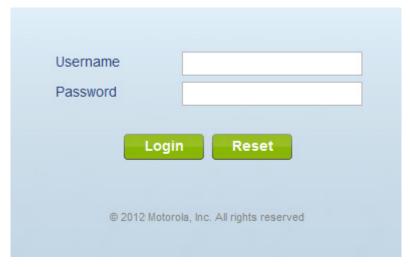
5 コントローラの初期設定

コントローラに適用可能な構成 (またはプロファイル)の定義方法については、RFS4000 または RFS6000、RFS7000 モデルのコントローラをご使用の場合はモトローラソリューションズの Web サイトにある「システムリファレンスガイド」を参照してください。詳細情報は、http://supportcentral.motorola.com/support/product/manuals.do をご覧ください。RFS シリーズコントローラの RF ドメイン、基本的な構成、センサー構成を定義するには、コントローラの基本的な構成、44ページを参照してください。

RFS4011 モデルのコントローラを展開する場合は、コントローラの基本的な構成を定義する 初期設定ウィザードが利用可能です。

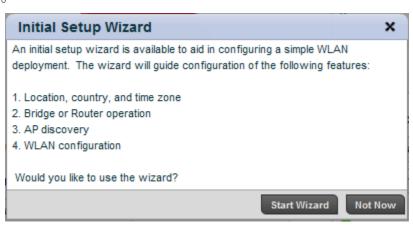
RFS4011 シリーズ統合サービスコントローラを設置して電源を入れた後、次の手順を実行して装置を起動しコントローラの管理機能にアクセスします。

- 1. イーサネットケーブルの一方の端を RFS4011 前面にある 5 つの LAN ポートのいずれかに接続し、もう一方の端を Web ブラウザが起動しているコンピュータに接続します。
- 2. 接続したポートで 192.168.0.10 ~ 192.168.0.250 の IP アドレスが使用されるようにコンピュータを設定します。 サブネットまたはネットワークマスクは 255.255.255.0 に設定します。
- 3. コンピュータに IP アドレスが割り当てられたら、Web ブラウザで https://192.168.0.1/ にアクセスします。以下のログイン画面が表示されます。



- 4. [Username] フィールドにデフォルトのユーザー名「admin」を入力します。
- 5. [Password] フィールドにデフォルトのパスワード「motorola」を入力します。
- 6. **[Login]** ボタンをクリックして管理インターフェースを読み込みます。

7. 管理インターフェースに初めてアクセスする場合、初期設定ウィザードを開始するダイ アログが表示されます。**[Start Wizard]** ボタンをクリックして初期設定ウィザードを実行 します。



8. ウィザードの最初の画面で、デフォルトの**パスワード**を変更し、**場所**および**問い合わせ** 名を入力します。



- 9. RFS4011 の**タイムゾーン**および**国**を選択します。
- 10. 本機器へのアクセスを許可するアクセス方法をそれぞれ選択します。

[Next] ボタンをクリックして次の手順に進み、画面上の指示に従って初期設定ウィザードを完了します。

コントローラの基本的な構成

RFS4000 および RFS4011、RFS6000、RFS7000 の管理者は、いくつかの中心的な基本構成項目からなる RF ドメイン構成を作成できます。設定ウィザード内では利用不可能ですが、これらの基本構成項目は最小の管理操作でコントローラを起動するのに役立ちます。詳細は以下を参照してください。

- RFドメイン
- RFドメインの基本的な構成
- RFドメインのセンサーの構成
- RFドメインのオーバーライド
- RFドメインの割り当て
- RFドメイン CLI の例

RFドメイン

RFドメインは、たとえば建物やその階数、サイトなどの共通到達領域に展開された装置に地域および規制、RFの構成を管理者が割り当てるのに使用できます。各 RFドメインには、地域や規制、センサーサーバーの構成パラメータが含まれており、Access や SMART RF、WIPS の構成を決定するポリシーが割り当てられている場合もあります。

管理者はまた、RFドメインに割り当てられたアクセスポイントの SSID 名と VLAN 割り当てをオーバーライドすることもできます。これにより、企業は複数のサイトで共通のWLAN を展開しながら、サイトごとに固有の SSID 名または VLAN 割り当てを使用することが可能です。

RFドメインは、コントローラとアクセスポイントでとに割り当てることができ、デフォルトではすべての装置が「default」という名前の RFドメインに割り当てられます。管理者は、ユーザー定義の RFドメインを作成できます。これは手動でコントローラとアクセスポイントに割り当てるか、適用ポリシーを使用して自動的にアクセスポイントに割り当てることで実行できます。

- 単一建物内での展開の場合、すべての装置で共通の地域、規制関連の構成が使用されるため、デフォルトの RF ドメインを使用することをお薦めします。
- 複数の建物またはサイトにまたがる展開の場合は、各建物またはサイトで RF ドメイン を個別に設定することが推奨されます。
- デフォルトの RF ドメインを使用しない場合は、規制パラメータを定義しないことを推奨します。これにより、デフォルトの RF ドメインに自動的に割り当てられた新しいアクセスポイントが、誤った規制の構成を継承するのを防止できます。

RFドメインの構成を定義するには、次の手順を実行します (コントローラの UI インターフェースを使用)。

- 1. [Configuration] > [RF Domains] 画面の順に移動します。
- 2. 新しい RF ドメインを定義するには [Add] を、既存の構成を変更するには [Edit] を、RF ドメインを削除するには [Delete] を選択します。[Edit] を選択した場合、[Basic Configuration] および [Sensor Configuration]、[Overrides] オプションが表示され、RF ドメインの属性が変更できます。

RFドメインの基本的な構成

[RF Domain Basic Configuration] 画面では、管理者が地域および規制の構成パラメータを定義し、SMART RF および WIPS のポリシーをコントローラの RF ドメインに割り当てることができます。 次の点に注意してください。

- アクセスポイントに割り当てられた各 RF ドメインには、ISO-3166 の 2 文字の国コードが 含まれる必要があります。
- RF ドメインごとに、SMART RF または WIPS ポリシーが 1 つサポートされる必要があります。

基本的な構成を定義するには、次の手順に従います。

- 1. [Configuration] > [RF Domains] の順に移動します。
- 2. 既存の RF ドメインを選択してから [Edit] ボタンを選択します。
- 3. 画面左側の [Basic Configuration] オプションを選択します。以下を設定します。

RF Domain	新しい RF ドメインを作成する場合は、その機能に合った名前を割り当てます。名前は最大 32 文字です。編集プロセスの一環として名前を変更することはできません。
Location	サービスプラットフォーム RF ドメインの物理的な場所を割り当てます。この名前は、建物の階数のように具体的なものでも、サイト全体のように一般的なものでも構いません。この場所は、RF ドメインポリシーによって装置構成の共通セットが展開および管理される物理的エリアを定義します。
Contact	RF ドメインによって作成されたイベントまたは RF ドメインに影響するイベントに対応する連絡先 (管理者)の名前を示します。

Time Zone	各 RF ドメインポリシーに設定された地理的タイムゾーンを表示します。RF ドメインには、異なる州や国にまたがって展開されるサービスプラットフォームおよびアクセスポイントに固有の国コードおよびタイムゾーンの情報を含むことができるため、複数の地域にわたる展開で装置の構成を管理するのに理想的です。
Country	RF ドメインに設定された 2 桁の国コードを定義します。 本装置では、国によって異なるチャネルで無線が伝送されるため、ポリシーが違法に操作されないように国コードを正確に設定する必要があります。
VLAN for Traffic Control	この RF ドメイン内でのトラフィック制御用の VLAN (1 ~ 4,094 の範囲内) の指定に使用するスピナコントロールを有効にするには、チェックボックスを選択します。

無線に障害や不具合があった場合、Smart RF ポリシーを使用して、カバレッジの損失を補正するために近隣のアクセスポイントに伝送力を増加するよう指示して自動的に回復を図ることができます。

アクセスポイントの設置が正確に確立されたら、Smart RF は検出無線の自動選択に使用できます。Smart RF は検出無線を使用して RF イベントを監視します。また、適切な検出領域を保証するのに利用することも可能です。

4. 次の RF ドメインの SMART RF パラメータを定義します。

SMART RF Policy	RFドメインに対する既存の Smart RF ポリシーを割り当てます。まだ存在しない場合は、新しいポリシーを作成します。Smart RF ポリシーのドロップダウンメニューを使用して、既存の Smart RF ポリシーに移動し、RFドメインの機能に最適なものを選択します。存在しない場合は、作成アイコンを選択し、RFドメインで使用可能な Smart RFの構成を定義するのに必要なパラメータを設定します。既存のポリシーは、ドロップダウンメニューから該当するポリシーを選択し、編集アイコンを選択することで編集が可能です。
Override Channel List 2.4GHz	Smart RF が (この Smart RF ポリシー内で)2.4GHz の無線に使用できるチャネルのオーバーライドリストを指定します。
Override Channel List 5GHz	Smart RF が (この Smart RF ポリシー内で)5GHz の無線に 使用できるチャネルのオーバーライドリストを指定 します。

5. 次の RF ドメインのスマートスキャンパラメータを定義します。

Enable Dynamic Channel	Smart RF 無線の動的チャネル切り替えを有効にするには、 このオプションを選択します。
2.4GHz Channels	ドロップダウンメニューからチャネルを選択し、下向き 矢印をクリックして 2.4GHz Smart RF 無線に使用される チャネルのリストに移動します。
5GHz Channels	ドロップダウンメニューからチャネルを選択し、下向き 矢印をクリックして 5GHz Smart RF 無線に使用されるチャ ネルのリストに移動します。

6. RF ドメインに対する既存の無線 IPS (WIPS) ポリシーを割り当てます。まだ存在しない場合は、新しいポリシーを作成します。

WIPS ポリシーのドロップダウンメニューを使用して、既存の WIPS ポリシーに移動し、RF ドメインの機能に最適なものを選択します。存在しない場合は、作成アイコンを選択し、RF ドメインで使用可能な WIPS の構成を定義するのに必要なパラメータを設定します。既存のポリシーは、ドロップダウンメニューから該当するポリシーを選択し、編集アイコンを選択することで編集が可能です。

WIPS ポリシーは、無線の脅威から保護し、無線 VPN および暗号化、認証を補足するセキュリティの重要な層として機能します。WIPS ポリシーは専用センサーを使用して不正 AP 装置を積極的に検出および特定します。検出した装置は、WIPS は手動停止またはエアロックダウン、ポート抑制などの軽減技法によってブロックされます。

- 7. RF ドメインの統計更新方法を定義する統計フィールドを参照してください。
- 8. **[OK]** を選択して RF ドメインの基本的な構成への変更を保存するか、**[Reset]** を選択して 前回保存した設定に戻します。

RFドメインのセンサーの構成

Motorola Solutions ワイヤレス侵入防御システム (WIPS) は管理ネットワークおよびワイヤレスクライアント、アクセスポイントの無線トラフィックを攻撃や不正アクセスから保護します。分散環境における基準準拠や 24 時間対応のワイヤレスネットワークセキュリティを実現するツールを備えています。WIPS の採用により、攻撃や不正機器、ネットワークの脆弱性をリアルタイムで正確に特定できるほか、脅威検出時にはワイヤレス機器接続の有線/無線ロックダウンが可能となります。

専用の Motorola Solutions Air Defense センサーに加え、アクセスポイントの無線がセンサーとして機能し、専用 WIPS サーバー (サービスプラットフォーム外部) に情報をアップロードします。各センサーのサーバーのエントリは、Advanced WIPS ライセンスがインストールされたコントローラまたは Air Defense サービスプラットフォーム (ADSP) と通信できるように構成できます。個々の RF ドメインのデータ保護ニーズに対応する WIPS サーバー構成が利用できるよう、RF ドメインごとに固有の WIPS サーバーを構成できます。

WIPS は WLAN ベースではサポートされていませんが、センサー機能は各管理 WLAN で利用可能なアクセスポイント無線でサポートされています。アクセスポイント無線が WIPS センサーとして機能している場合、2.4GHz と 5.0GHz のすべての合法なチャネルのセンサーモードでスキャンが可能です。センサーのサポートには、ネットワーク上の AirDefense WIPS サーバーが必要です。アクセスポイント単独では、センサー機能を提供していません。アクセスポイントは、専用の WIPS サーバーと連携して動作します。次の点に注意してください。

- RFドメインごとにセンサーサーバーエントリを3つまで定義できます。
- デフォルトでは、Advanced WIPS には TCP ポート 8443 が、ADSP には TCP ポート 443 がセンサーの通信に使用されます。
- センサーサーバーの IP アドレスとポートは、装置のオーバーライド機能を使用してアクセスポイントに直接割り当てられます。

RFドメインのセンサー構成を定義するには、次の手順を実行します (コントローラの UI インターフェースを使用)。

- 1. [Configuration] > [RF Domains] 画面の順に移動します。
- 2. 既存の RF ドメインを選択してから [Edit] ボタンを選択します。
- 3. 画面左側の [Sensor Configuration] オプションを選択します。
- 4. **[+ Add Row]** ボタンを選択して新しい WIPS サーバー構成を作成するか、既存のセンサーサーバー構成をハイライトして**削除**アイコンを選択し削除します。

Sensor Appliance	Configuration
------------------	---------------

Server Id	IP Address	Port	ŵ
1	192.168.10.34	443	ŵ
2	192.168.10.35	443	ŵ



- 5. スピナコントロールを使用して、定義済みの各 WIPS サーバーに**サーバー ID** を数字で割り当てます。サーバープラットフォームは、ID の数字が最も小さいサーバーに最初に到達します。デフォルト ID は「1」です。
- 6. RF ドメインによって WIPS センサーサーバーとして使用されている各サーバーの、数字 (非 DNS)の IP アドレスを入力します。
- 7. スピナコントロールを使用して、各 WIPS サーバーの**ポート**を指定します。デフォルトポートは 443 です。
- 8. **[OK]** を選択して RF ドメインのセンサー構成への変更を保存するか、**[Reset]** を選択して 前回保存した設定に戻します。

RFドメインのオーバーライド

管理ネットワーク内では、各 WLAN が関連ワイヤレスクライアントにサービスセット *ID* (SSID) を設定します。これは、QoS とセキュリティポリシーを取得するためにワイヤレスクライアントが異なる SSID と関連付けられなければならないため、制限があります。しかし、Motorola Solutions 管理 RF ドメインでは WLAN を割り当て、単一の SSID を通知できる一方で、ユーザーは異なる QoS またはセキュリティポリシーを継承できます。[Override SSID] 画面で、RF ドメインでの必要に応じて WLAN にオーバーライド SSID を割り当てます。

オーバーライドによって、企業は複数のサイトで共通の WLAN を展開しながら、サイトごと に固有の SSID 名または VLAN 割り当てることが可能となります。これにより、各サイトで 個々の WLAN の定義を構成および管理する必要性がなくなります。

コントローラにより、2 つ以上の VLAN に WLAN をマッピングすることができます。ワイヤレスクライアントは、WLAN に関連付けられる際、VLAN 全体でユーザーが負荷分散される形で VLAN を割り当てられます。 VLAN は、代表的な WLAN のプールから割り当てられます。 コントローラは VLAN ごとのクライアントユーザーの数を追跡し、最も使用されていない / 負荷の少ない VLAN をワイヤレスクライアントに割り当てます。 この数は WLAN に追跡されます。 次の点に注意してください。

- SSID および VLAN のオーバーライドは、WLAN にサービスを提供している RF ドメインに 割り当てられたすべてのアクセスポイントに対し、WLAN で定義済みの SSID 名または VLAN ID をオーバーライドします。
- VLAN のオーバーライドは、単一の VLAN ID または 2 つ以上の VLAN ID のプールで設定可能です。

RF ドメインの構成をオーバーライドするには、次の手順を実行します (コントローラの UIインターフェースを使用)。

- 1. [Configuration] > [RF Domains] 画面の順に移動します。
- 2. 既存の RF ドメインを選択してから [Edit] ボタンを選択します。
- 3. 画面左側の [Overrides] オプションを選択します。[Overrides] 画面は 2 つのタブに分かれています。デフォルトでは [Override SSID] タブが表示されます。
- 4. [+ Add] ボタンを選択して新しい SSID オーバーライド設定を作成するか、既存のセンサーサーバー構成をハイライトして削除アイコンを選択し表から削除します。
- 5. WLAN ドロップダウンメニューを使用して、オーバーライド SSID を供給する既存の WLAN を選択します。WLAN の構成が定義されていない場合は、[Create] ボタンを選択して、少なくとも 1 つ WLAN の構成を完了する必要があります。
- 6. オーバーライド SSID として使用する SSID の名前を入力します。
- 7. [OK] を選択して SSID オーバーライド設定への変更を保存するか、[Reset] を選択して前回保存した設定に戻します。
- 8. **[Override VLAN]** タブを選択します。[Override VLAN] 画面には、オーバーライドが可能な WLAN がリスト表示されます。

- 9. **[Add]** を選択して新しい VLAN のオーバーライド設定を定義するか、既存の WLAN を選択して **[Edit]** を選択し VLAN のオーバーライドと制限を変更するか、あるいは **[Delete]** を選択して WLAN の VLAN オーバーライド設定を削除します。
- 10. VLAN スピナコントロールを使用して、選択した WLAN に追加する VLAN を変更します。 デフォルトでは、選択した任意の WLAN に対して「VLAN 1」になるように設定されて います。
- 11. **ワイヤレスクライアント制限**のスピナコントロールを使用して、VLAN のクライアントユーザー制限を設定します。VLAN ごとに最大で 8192 のクライアントが許容されます。VLAN 数は $1 \sim 4094$ の間で定義可能です。デフォルト設定は 0 です。
- 12. [OK] を選択して VLAN オーバーライド設定への変更を保存するか、[Reset] を選択して前回保存した設定に戻します。

RFドメインの割り当て

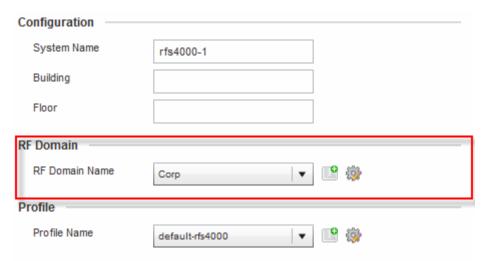
RFドメインは、装置の構成 UI と CLI コマンドファミリを使用して個別のコントローラおよびアクセスポイントに割り当てられます。RFドメインは、デバイスプロファイルを使用して装置に割り当てることはできません。

デフォルトでは、各コントローラとアクセスポイントは、「default」という名前の RF ドメインに自動的に割り当てられます。RF ドメイン割り当ての際は、以下の点を留意してください。

- コントローラまたはアクセスポイントでとに1つのRFドメインを割り当てることができます。
- RFドメインは、プロファイルを使用して装置に割り当てることはできません。
- RF ドメインは、使用ポリシーに基づく使用中にアクセスポイントに自動的に割り当てる ことが可能です。

RFドメインの構成を割り当てるには、次の手順を実行します (コントローラの UI インターフェースを使用)。

- 1. [Configuration] > [Devices] 画面の順に移動します。
- 2. コントローラ管理ネットワークで使用可能な装置からコントローラまたはアクセスポイントを選択します。
- 3. [Edit] ボタンをクリックします。
- 4. [Basic Configuration] 画面で、選択したコントローラまたはアクセスポイントに割り当てるユーザー定義 RF ドメイン名を選択します。



5. [OK] を選択して RF ドメイン割り当てへの変更を保存するか、[Reset] を選択して前回保存した設定に戻します。

RFドメイン CLI の例

デフォルトの RF ドメイン

rf-domain default
location JohnsonCityTN
contact admin@motorola.com
timezone EST5EDT
country-code us
use smart-rf-policy Corp
sensor-server 1 ip 192.168.10.34
sensor-server 2 ip 192.168.10.35

ワイヤレスコントローラの RF ドメインの割り当て

rfs4000 00-23-68-22-A3-AC use profile default-rfs4000 use rf-domain Corp

アクセスポイントの RF ドメインの割り当て

ap650 00-23-68-31-14-2D use profile default-ap650 use rf-domain Corp

ユーザー定義の RF ドメイン

rf-domain Boston
location BostonMA
contact admin@motorola.com
timezone EST5EDT
country-code us
use smart-rf-policy Boston
sensor-server 1 ip 192.168.10.34
sensor-server 1 ip 192.168.10.35

6 規制および WEEE に関する声明

すべてのモトローラソリューションズ製機器は、販売される地域の法規制に準拠して設計されており、必要に応じてラベル表示されています。モトローラソリューションズが明示的に承認していないモトローラソリューションズ製機器への変更または修正を行うと、機器の使用に関するユーザーの権限が無効になる場合があります。

各言語に翻訳されたバージョンは次の Web サイトで参照できます。: http://www.motorola.com/enterprisemobility/support/.

モトローラ製の機器は専門的にインストールされているため、無線周波数出力は操作を行う国の最大許容限度を超えません。

アンテナ:交換を行うときは、純正または承認されたアンテナのみ使用します。承認されていないアンテナの使用、不正改造、付属品の取り付けによって、損傷の原因となったり、規制違反となったりすることがあります。

各国での承認

米国、カナダ、日本、中国、韓国、オーストラリア、および欧州において無線の使用が承認されていることを示す規制のマークが、機器に添付されています。

それ以外の国におけるマークについての詳細は、準拠宣言 (DoC) を参照してください。これについては、http://www.motorola.com/doc から入手できます。

注 1: 2.4GHz 製品の場合: 欧州には、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、チェコ共和国、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイスおよび英国が含まれます。

規制の承認を受けていない機器を操作することは違法です。

健康および安全に関する推奨事項

ワイヤレス機器の使用に対する警告

ワイヤレス機器の使用に関する警告や注意は、<u>すべて</u>に目を通してください。

大気汚染の可能性

燃料貯蔵所、化学プラント、および空気中に化学物質や粒子(砂粒、ほこり、または金属粉など)が含まれている場所では、無線機器の使用に関する制限をよく読む必要があります。

病院での安全

ワイヤレス機器は、無線周波数エネルギーが伝送され、医療電子機器に影響を与えることがあります。他の機器 の近くに設置するときは、その機器が影響を受けないことを確認することをお勧めします。

ペースメーカー

ペースメーカーの製造業者は、ペースメーカーへの干渉を避けるため、携帯ワイヤレス機器とペースメーカーとの間隔を最低でも 15cm (6 インチ) 離すことを推奨しています。この推奨内容は、Wireless Technology Research が独自に行った研究や推奨事項と一致します。

他の医療機器

かかりつけの医師または医療機器の製造業者にお問い合わせの上、ワイヤレス製品が医療機器に干渉しないかど うか確認してください。

高周波放出に関するガイドライン

安全に関する情報

高周波放出の低減 - 適切な使用

機器の操作は、提供されている指示に従ってください。

その他の国

本機器は、無線機器の電磁波が人体に及ぼす影響に関する、国際的に認められた基準に準拠しています。電磁波が人体に及ぼす影響に関する国際的な基準の詳細については、モトローラソリューションズの準拠宣言 (DoC) (http://www.motorola.com/doc) を参照してください。

EU

リモートおよびスタンドアロンアンテナの構成

EU 高周波放出に関する要件に準拠するため、リモートの場所で屋外に設置するアンテナ、または同様の構成のスタンドアロンデスクトップでユーザーの近くで動作するアンテナは、人体から最低でも 20 cm 離して操作する必要があります。

米国およびカナダ

他の機器と共に配置する場合の声明

FCC 高周波放出に関する要件に準拠するため、本送信機で使用するアンテナは、他の送信機またはアンテナ (本書で承認したものを除く)と共に配置または操作しないようにしてください。

リモートおよびスタンドアロンアンテナの構成

FCC 高周波放出に関する要件に準拠するため、リモートの場所で屋外に設置するアンテナ、または同様の構成のスタンドアロンデスクトップでユーザーの近くで動作するアンテナは、人体から最低でも 20cm 離して操作する必要があります。

電源

クラス 2 (IEC60950-1、SELV) のマークが付いた直接プラグイン式のモトローラソリューションズ認定電源、タイプ No. 86-120786 (54 Vdc、2.7 A) のみを使用してください。

代替電源を使用すると、このユニットへの承認が無効になり、危険になる場合があります。

レーザー機器 – ギガビットイーサネット SFP のオプション

2007 年 6 月 24 日付の『Laser Notice NO.50』に準じた逸脱を除き、レーザー製品に関する安全基準である 21CFR1040.10 および 1040.11 に

準拠しています。

EN60825-1: 2007

IEC60825-1 (Ed. 2.0)

レーザーの分類は機器に記載されています。

クラス1のレーザー機器は、本来の用途で使用した場合には危険とは見なされません。米国および各国の規制に 準拠するため、以下の記述が必要とされています。



注意

本書に明記されていない方法で操作部の使用、調整または操作手順を行うと、危険なレーザー光を浴びる可能性があります。

ワイヤレス機器 – 国

国の選択

機器を使用する国のみを選択してください。他の国を選択すると、本機器の操作自体が違法になります。



メモ

米国限定モデルのコントローラでは、国コードは永久的に米国に設定されています。ワールドワイドモデルは、米国で使用するように設定することはできません。

米国およびカナダでの操作

UNII (Unlicensed National Information Infrastructure) バンド 1 5150-5250 MHz での使用は、屋内での使用に限られ、その他の使用では本機器の操作が違法になります。

米国での 802.11 b/g の操作で使用できるチャネルは、チャネル 1 \sim 11 です。チャネルの範囲は、ファームウェアで制限されています。

無線周波数干渉に関する要件 – FCC



本装置は、テストの結果、FCC 規則パート 15 に基づくクラス B デジタル装置の条件に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉を適切に防止することを目的としています。この装置は電磁波を発生および使用しており、電磁波を放出する可能性があるため、設置および使用に際して説明書に従わない場合、無線通

57

信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件に従えば電波干渉が起こらないと保証されるものではありません。この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は(装置をオフ/オンにすることで確認できます)、次のいずれかの方法を試して、問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向または位置を変更する。
- 装置と受信機の間隔を空ける。
- 受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに装置を接続する。
- ラジオ / テレビの販売店または技術専門者に相談する。

無線通信機 (パート 15)

本装置は FCC 規則パート 15 に準拠しています。以下の 2 つの条件を前提として動作します。(1) この装置は有害な干渉を引き起こさず、(2) この装置は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含めて、どのような干渉も許容する必要があります。

無線周波数干渉に関する要件 - カナダ

このクラス B デジタル装置はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

無線通信機

この装置は Industry & Science Canada の RSS 210 に準拠しています。以下の 2 つの条件を前提として動作します。 (1) この装置は有害な干渉を引き起こさず、(2) この装置は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含めて、どのような干渉も許容する必要があります。

他のユーザーへの潜在的な電波干渉を減らすため、アンテナの種類と増幅率は、等価等方放射電力 (EIRP) が正常な通信のために許可された範囲を超えないように選択する必要があります。

ラベルのマーク : 無線認可の前の「IC:」という語は、カナダ産業省 (Industry Canada) 技術仕様に適合していることを示しています。

CE マークと欧州経済領域 (EEA)

EEA を介した使用の場合、2.4GHz RLAN の使用には、次の制限があります。

- 周波数範囲 2.400 ~ 2.4835GHz で最大放射伝送力 100mW EIRP。
- フランス国外での使用の場合、装置は 2.400 ~ 2.45GHz 周波数範囲に制限されています。
- イタリアでは、屋外使用のユーザーライセンスが必要です。

準拠に関する声明

モトローラソリューションズは、本機器が重要要件および Directive 1999/5/EC のその他の関連状況に準拠していることをここに宣言します。適合宣言は http://www.motorola.com/doc から入手できます。

韓国クラスBの警告声明

기 종 별	사 용 자 안 내 문
B 급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용 (B 급) 으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적 으로 하며 , 모든 지역에서 사용할 수 있습니다 .
クラス B(家庭での使用のための ブロードキャスト通信機器)	本機器は、主に家庭用に使用する EMC 規制 (クラスB)に適合し、すべての地域でで使用いただけます。

その他の国

<u>オーストラリア</u>

オーストラリア国内では、 $5.50\sim5.65$ GHz 帯での 5GHz RLAN の使用は禁じられています。

<u>ブラジル</u>

Declarações Regulamentares para – Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para maiores informações sobre ANATEL consulte o site: www.anatel.gov.br

<u>チリ</u>

Este equipo cumple con la Resolución No 403 de 2008, de la Subsecretaria de telecomunicaciones, relativa a radiaciones electromagnéticas.

<u>メキシコ</u>

制限周波数範囲: 2.450 ~ 2.4835 GHz

台湾

臺灣

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機, 非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信;經發現有干擾現象時,應立即 停用,並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信,指依電信規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

在 5.25-5.35 秭赫頻帶內操作之無線資訊傳輸設備, 限於室內使用

韓国

당해 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음

당해 무선설비 는전파혼 신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

トルコ - 準拠に関する WEEE 声明

EEE Yönetmeliğine Uygundur



廃電気電子機器 (WEEE)

English: For EU Customers: All products at the end of their life must be returned to Motorola for recycling. For information on how to return product, please go to: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Français : Clients de l'Union Européenne : Tous les produits en fin de cycle de vie doivent être retournés à Motorola pour recyclage. Pour de plus amples informations sur le retour de produits, consultez : http://www.motorola.com/recycling/weee.

Español: Para clientes en la Unión Europea: todos los productos deberán entregarse a Motorola al final de su ciclo de vida para que sean reciclados. Si desea más información sobre cómo devolver un producto, visite: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Български: За клиенти от ЕС: След края на полезния им живот всички продукти трябва да се връщат на Motorola за рециклиране. За информация относно връщането на продукти, моля отидете на адрес: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Deutsch: Für Kunden innerhalb der EU: Alle Produkte müssen am Ende ihrer Lebensdauer zum Recycling an Motorola zurückgesandt werden. Informationen zur Rücksendung von Produkten finden Sie unter http://www.motorola.com/recycling/weee.

Italiano: per i clienti dell'UE: tutti i prodotti che sono giunti al termine del rispettivo ciclo di vita devono essere restituiti a Motorola al fine di consentirne il riciclaggio. Per informazioni sulle modalità di restituzione, visitare il seguente sito Web: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Português: Para clientes da UE: todos os produtos no fim de vida devem ser devolvidos à Motorola para reciclagem. Para obter informações sobre como devolver o produto, visite: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Nederlands: Voor klanten in de EU: alle producten dienen aan het einde van hun levensduur naar Motorola te worden teruggezonden voor recycling. Raadpleeg http://www.motorola.com/recycling/weee voor meer informatie over het terugzenden van producten.

Polski: Klienci z obszaru Unii Europejskiej: Produkty wycofane z eksploatacji należy zwrócić do firmy Motorola w celu ich utylizacji. Informacje na temat zwrotu produktów znajdują się na stronie internetowej http://www.motorola.com/recycling/weee.

Čeština: Pro zákazníky z EU: Všechny produkty je nutné po skončení jejich životnosti vrátit společnosti Motorola k recyklaci. Informace o způsobu vrácení produktu najdete na webové stránce:

http://www.motorola.com/recycling/weee.

Eesti: EL klientidele: kõik tooted tuleb nende eluea lõppedes tagastada taaskasutamise eesmärgil Motorola'ile. Lisainformatsiooni saamiseks toote tagastamise kohta külastage palun aadressi:

http://www.motorola.com/recycling/weee.

Magyar: Az EU-ban vásárlóknak: Minden tönkrement terméket a Motorola vállalathoz kell eljuttatni újrahasznosítás céljából. A termék visszajuttatásának módjával kapcsolatos tudnivalókért látogasson el a http://www.motorola.com/recycling/weee weboldalra.

Svenska: För kunder inom EU: Alla produkter som uppnått sin livslängd måste returneras till Motorola för återvinning. Information om hur du returnerar produkten finns på http://www.motorola.com/recycling/weee.

Suomi: Asiakkaat Euroopan unionin alueella: Kaikki tuotteet on palautettava kierrätettäväksi Motorola-yhtiöön, kun tuotetta ei enää käytetä. Lisätietoja tuotteen palauttamisesta on osoitteessa http://www.motorola.com/recycling/weee.

Dansk: Til kunder i EU: Alle produkter skal returneres til Motorola til recirkulering, når de er udtjent. Læs oplysningerne om returnering af produkter på: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Ελληνικά: Για πελάτες στην Ε.Ε.: Όλα τα προϊόντα, στο τέλος της διάρκειας ζωής τους, πρέπει να επιστρέφονται στην Motorola για ανακύκλωση. Για περισσότερες πληροφορίες σχετικά με την επιστροφή ενός προϊόντος, επισκεφθείτε τη διεύθυνση http://www.motorola.com/recycling/weee στο Διαδίκτυο.

Malti: Għal klijenti fl-UE: il-prodotti kollha li jkunu waslu fl-aħħar tal-ħajja ta' l-użu tagħhom, iridu jiġu rritornati għand Motorola għar-riċiklaġġ. Għal aktar tagħrif dwar kif għandek tirritorna l-prodott, jekk jogħġbok żur: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Românesc: Pentru clienții din UE: Toate produsele, la sfârșitul duratei lor de funcționare, trebuie returnate la Motorola pentru reciclare. Pentru informații despre returnarea produsului, accesați: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Slovenski: Za kupce v EU: vsi izdelki se morajo po poteku življenjske dobe vrniti podjetju Motorola za reciklažo. Za informacije o vračilu izdelka obiščite: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Slovenčina: Pre zákazníkov z krajín EU: Všetky výrobky musia byť po uplynutí doby ich životnosti vrátené spoločnosti Motorola na recykláciu. Bližšie informácie o vrátení výrobkov nájdete na:

http://www.motorola.com/recycling/weee.

Lietuvių: ES vartotojams: visi gaminiai, pasibaigus jų eksploatacijos laikui, turi būti grąžinti utilizuoti į kompaniją "Motorola". Daugiau informacijos, kaip grąžinti gaminį, rasite: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Latviešu: ES klientiem: visi produkti pēc to kalpošanas mūža beigām ir jānogādā atpakaļ Motorola otrreizējai pārstrādei. Lai iegūtu informāciju par produktu nogādāšanu Motorola, lūdzu, skatiet: http://www.motorola.com/recycling/weee.

Türkçe: AB Müşterileri için: Kullanım süresi dolan tüm ürünler geri dönüştürme için Motorola'ya iade edilmelidir. Ürünlerin nasıl iade edileceği hakkında bilgi için lütfen şu adresi ziyaret edin: http://www.motorola.com/recycling/weee.

日本語:EU のお客様: 寿命で使用できなくなった全製品は、リサイクルのためモトローラに返送してください。製品の返送方法については、次のURL を参照してください: http://www.motorola.com/recycling/weee

7 モトローラソリューションズサポート

モトローラソリューションズのエンタープライズモビリティサポートセンター

機器に関する問題がある場合は、お近くのエンタープライズモビリティサポートにご連絡ください。サポートおよび問題解決が、保証に基づく製品、またはエンタープライズモビリティサービス契約書に規定された製品に対して提供されます。お問い合わせ先および Webによるセルフサービスの詳細については、<u>http://supportcentral.motorola.com/</u>にアクセスしてください。

サポートにお問い合わせの際は、次の情報を事前にご用意ください。

- ユニットのシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアの種類とバージョン番号

モトローラソリューションズは、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メールまたは電話にて回答を行います。モトローラソリューションズのビジネスパートナーからエンタープライズモビリティビジネス製品をお求めの場合、サポートについてはそのビジネスパートナーにお問い合わせください。

カスタマーサポート Web サイト

モトローラソリューションズのサポートセントラル Web サイトは、http://supportcentral.motorola.com/ にあり、開発者ツール、ソフトウェアのダウンロード、製品マニュアルおよび修理のご依頼に関する情報およびオンラインサポートを提供しています。

マニュアル

http://supportcentral.motorola.com/support/product/manuals.do

8 Motorola Solutions, Inc. エンドユーザーライセン ス契約

本書に記載されたソフトウェアのダウンロード、インストール、または使用により、お客様またはお客様の属する団体もしくは企業(以下「契約者」)は、本ライセンス契約(以下「契約」)の当事者として、本契約の条項に無条件に従うことに同意したものと見なされます。契約者による、ダウンロードまたはインストールしたソフトウェアの使用または継続的な使用も、本契約の条項に従う必要があります。本契約の条項に無条件に同意しない場合、インストールプロセスを継続することはできません。これらの条項が提案と見なされる場合は、同意はこれらの条項に明示的に限定され、明示的に付随するものとします。お客様が企業、他のユーザー、またはその他の法人の代理としてこれらの条項に同意する場合は、かかる企業、ユーザー、または法人を拘束する権限をお客様が保持していることを表明および保証するものとします。

- 1 ライセンスの付与。Motorola, Inc. およびその子会社(以下「モトローラ」)は、本契約の条項に従って、契約者がダウンロードまたはインストールするソフトウェアおよび付属文書(以下、集合的に「ソフトウェア」)を、モトローラ製のハードウェアに関連して、付属文書に従って個人的に使用する場合にのみ、本ソフトウェアを使用するための限定的、個人的、サブライセンス不能、譲渡不能、および非独占的なライセンスを契約者に付与するものとします。契約者は、単一のコンピュータでのみ、本ソフトウェアをダウンロード、インストール、および使用できるものとします。契約者は、バックアップを目的とする場合に限り、モトローラまたはそのサプライヤによる著作権やその他の権利制限に関する注意事項を正確に複製することを条件として、本ソフトウェア(いかなる文書も除く)のコピーを1部作成できるものとします。
- 2 ライセンスの制限。本契約で明示的に許可されている場合を除いて、契約者は以下の行為を行うことはできず、直接的または間接的に他のユーザーに以下の行為を許可することもできません。(i) 本ソフトウェアの複製(バックアップ用のコピー1部を除く)、変更、配布、または派生著作物の作成。(ii) リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルなど、ソフトウェアのソースコード、構造、シーケンス、構成を明らかにする行為。または(iii) 共同使用またはサービス目的での本ソフトウェアのレンタル、リース、または使用、およびあらゆる商用目的または第三者の代理としての本ソフトウェアの使用。契約者は、本ソフトウェアのすべての所有権表示を維持する必要があり、これを削除または非表示にすることはできません。また、本ソフトウェアの許可されたすべてのコピーに対し、これらの表示を正確に複製する必要があります。本ソフトウェア(その一部およびコピーを含む)の権原、所有権、および知的所有権は、引き続きモトローラまたはそのサプライヤに属するものとします。モトローラは、いかなる時点でも、本ソフトウェアを変更または提供停止できるものとします。本ソフトウェアは、米国の著作権法および国際著作権条約で保護されています。本ソフトウェアはライセンス許諾されますが、販売されるものではありません。本契約は、本書で付与されているものを除き、契約者に対していかなる権利も付与しません。
- 3 知的財産、コンテンツ。本ソフトウェア(ソフトウェアに組み込まれたすべてのイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、「アプレット」を含み、またそれらに限定されない)および許可されたコピーのすべての権原および知的所有権は、モトローラまたはそのサプライヤが所有するものとします。本ソフトウェアを使用してアクセス可能なコンテンツのすべての権原および知的所有権は、かかるコンテンツの所有者の財産であり、著作権または知的所有権に関する適用法または適用条約で保護されます。本 EULA は、かかるコンテンツの使用権を付与するものではありません。契約者が本ソフトウェアを使用する条件として、契約者は本ソフトウェアを以下の目的で使用しないことを表明、保証および誓約するものとします。(i) 第三者の知的所有権、所有権、パブリシティ権、またはプライバシー権の侵害。(ii) 適用法、規則、条例、または規制への違反。(iii) 形式を問わず、有害、脅迫、虐待、嫌がらせ、不正、中傷、低俗、卑猥、名誉棄損またはその他の好ましくない意味を持つ情報または素材(以下「コンテンツ」)の流布。または (iv) あらゆるコンピュータのソフトウェア、ハードウェア、または通信機器の機能を中断、破壊、

または制限するようなソフトウェアウイルスまたはその他のコンピュータコード、ファイル、あるいはプログラムの流布。本ソフトウェアを使用して、または本ソフトウェアに関連して、契約者がアップロード、投稿、電子メール送信、送信、またはその他の方法で流布するコンテンツに対しては、モトローラではなく、契約者のみがすべての責任を負うものとします。

- 4 費用、サポート、およびアップグレード。モトローラは、独自の判断で、本ソフトウェアに関するサポートサービス (以下「サポートサービス」)を提供することができます。本契約は、契約者に対して、いかなるサポートサービスを受ける権利も付与しません。提供されるあらゆるサポートサービスの使用は、ユーザーマニュアル、「オンライン」ドキュメント、モトローラが提供するその他の情報またはサポート契約に記載されたモトローラのポリシーおよびプログラムによって管理されます。サポートサービスの一環として提供される追加のソフトウェアコードは、本ソフトウェアの一部として、本 EULA の条件に従うものとします。サポートサービスの一環として契約者がモトローラに提供する技術情報について、製品のサポートおよび開発を含むビジネス目的で、モトローラがかかる情報を使用することがあります。ただし、契約者を特定できるような形で、モトローラがかかる技術情報を利用することはありません。
- 5 契約の解除。いずれの当事者も、理由の有無を問わず、いかなる時点でも、書面による通知をもって本契約を解除することができます。本契約の解除により、本契約によって付与されたライセンスも無効になります。理由にかかわらず、本契約の解除時に、契約者はモトローラに本ソフトウェアのコピーを返却するか、またはすべてのコンピュータ、ハードドライブ、ネットワーク、その他の記憶メディアに存在する本ソフトウェアのすべてのコピーを削除および破棄し、その旨をモトローラに証明する必要があります。第2項から第13項は、本契約の解除後も効力を有するものとします。
- 6 免責事項。適用法で許容される最大範囲を限度として、モトローラおよびそのサプライヤは、本ソフトウェアおよびサポートサービス(あれば)を現状のまま欠陥を伴う状態で提供します。さらに、モトローラおよびそのサプライヤは、本ソフトウェアに関し、ならびにサポートサービスの提供または非提供に関し、商品性、特定目的に対する適合性、ウイルスが含まれていないこと、レスポンスの正確性または完全性、成果物、および専門的努力がなされていることのいかなる暗黙の保証または条件(あれば)を含め、またそれらに限らず、明示的または暗示的を問わず、一切責任を負わないものとします。さらに、本ソフトウェアに関し、権原、平穏享有権、所有権保全、説明との一致、または侵害のないことについて、いかなる保証も条件もないものとします。本ソフトウェアおよびサポートサービス(あれば)の品質に関して、またはその使用もしくはパフォーマンスに起因するすべてのリスクは、契約者が負うものとします。
- 7 偶発損害、派生損害、およびその他の確定的損害の除外。適用法によって許容される最大範囲を限度として、モトローラおよびそのサプライヤは、本ソフトウェアの使用または使用不能、サポートサービスの提供または非提供、あるいは本契約のいずれかの条項に関連して生じた(事業利益または極秘情報もしくは他の情報の損失、事業の中断、人的侵害、プライバシーの侵害、善意もしくは相当なる注意を含むあらゆる義務の不履行、過失、およびあらゆる金銭的損害もしくはその他の損害を含み、またそれらに限定されない)一般的、特別、偶発的、直接的、間接的、または派生的な損害に対して、モトローラおよびそのサプライヤに誤り、不法行為(過失を含む)、無過失責任負担、契約違反、または保証違反があっても、あるいはモトローラまたはそのサプライヤがかかる損害の可能性について知らされていても、一切責任を負わないものとします。
- 8 責任および救済の制限。いかなる理由であれ契約者が被った(上記のすべての損害、およびその他の直接的または一般的な損害をすべて含み、またそれらに限定されない)損害に対しては、それがどのようなものであっても、本契約に基づくモトローラおよびそのサプライヤのすべての責任ならびに契約者への唯一の救済については、契約者が本ソフトウェアに対して実際に支払った金額か、5米ドルのいずれか高い方の金額とします。上記の制限、除外、および免責事項は、いかなる救済であれその本来の目的を果たせない場合でも、適用法によって許容される最大範囲を限度として適用されるものとします。

- 9 損害賠償の免責。契約者は、契約者による本ソフトウェアの使用について、モトローラがいかなる責任も負わないことに同意するものとします。契約者は、本ソフトウェアの使用および本契約の条項への非準拠に起因するすべての要求、損害、損失、費用および出費(合理的な弁護士費用を含む)を補償し、モトローラに何らの損害も与えないものとします。
- 10 フォールトトレランス。本ソフトウェアはフォールトトレラントではなく、フェイルセーフな動作を必要とする危険環境での操作(本ソフトウェアの動作不良が直接的または間接的に死、身体障害、物理的損害、もしくは環境被害につながる恐れのある核施設、航空機の航行、通信システム、航空管制、生命維持装置、兵器システムなどの操作を含み、またそれらに限定されない(以下「ハイリスクな活動」)のオンライン制御機器として使用または再販するように設計および製造されておらず、その使用も想定していません。モトローラおよびそのサプライヤは、このようなハイリスクな活動に関する適合性についての明示的または黙示的な保証を明確に放棄します。
- 11 米国政府のライセンス権利。1995 年 12 月 1 日以降に発行された募集要請に応じて米国政府に提供された ソフトウェア製品はすべて、本契約書の別項に規定されている商用ライセンスの権利および制限に準拠し ます。1995 年 12 月 1 日より前に発行された募集要請に応じて米国政府に提供されたソフトウェア製品はす べて、FAR、48 CFR 52.227-14 (1987 年 6 月)、または DFAR、48 CFR 252.227-7013 (1988 年 10 月) のどちらか該当す るものに準拠します。これらの規制における「製造業者」とは、Motorola, Inc., One Symbol Plaza, Holtsville, NY 11742 です。
- 12 輸出規制。契約者は、米国商務省、米国財務省海外資産管理局 (OFAC)、または米国およびその他の政府により発行されたすべての輸出法、制限、規制に準拠する必要があります。さらに、契約者は、かかる制限、法律、または規制に違反して本ソフトウェアを輸出したり、輸出または再輸出を許可することはできません。本ソフトウェアのダウンロードまたはインストールにより、契約者は前述の事項に同意しているものと見なされ、契約者がいかなる輸出規制国の国民でもなく、滞在も居住もしておらず、支配も受けていないことを表明および保証します。
- 13 その他。契約者は、モトローラの書面による事前の同意なしに、本契約ならびに本契約に伴う一切の権利および義務をサブライセンス、譲渡、または委譲することはできません。書面による同意なしに、権利、責務、または義務のサブライセンス、譲渡、または委譲を行った場合、その行為は無効となります。モトローラは、独自の判断で、本契約を譲渡できるものとします。正当な司法権を持つ裁判所もしくは他の法廷によって、本契約のいずれかの条項が違法、無効、または法的強制力がないと見なされた場合、かかる条項は必要最小限に制限または削除され、本契約のその他の条項はその効力を維持するものとします。本契約のいかなる権利放棄または変更も、当事者の正当に権限が与えられた代表者による書面と署名がない限り、かかる当事者を法的に拘束するものではなく、また、いかなる権利の非行使および行使の遅延も権利放棄とは見なされません。本契約は、法による原則に抵触する場合を除き、米国ニューヨーク州法に基づきます。国際連合の国際間製品売買契約条約の適用は、明確に除外されます。特定の事例に対してモトローラが権利を放棄した場合を除いて、本契約に起因するすべての訴訟または訴訟手続きは、ニューヨークの州立裁判所または連邦裁判所のみに提訴されるものとし、契約者はかかる訴訟または訴訟手続きについて、かかる裁判管轄に同意するものとします。本契約は、当事者間の本契約に関する口頭または文書によるすべての合意事項に優先し、完全合意を構成するものです。本契約に起因するあらゆる訴訟の勝訴当事者は、訴訟費用および弁護士費用の払い戻しを受ける権利を有するものとします。





Motorola Solutions, Inc. 1301 E. Algonquin Rd. Schaumburg, IL 60196-1078, U.S.A. http://www.motorolasolutions.com

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS および M 形状のロゴは Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。他の全商標は各所有者に属しています。 © 2012 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved.



72-157808-01JA 改訂版 A 2012 年 1 月

